

海に見える交流施設（大社エリア交流・民間商業施設）設計コンペティション 2次審査 講評

審査の概要

海に見える交流施設（大社エリア交流・民間商業施設）設計コンペティションには、全国から94の設計事務所・チームの皆さまから素晴らしい提案を頂くことができました。1次審査委員会は令和7年2月26日に開催し、5作品を選考し、2次審査へ進めることといたしました。

2次審査では、町民を含む誰でも自由に参加できる形式で、公開プレゼンテーションおよびヒアリングを実施しました。提案者には、提案作品のプレゼンテーションを行っていただいた後、審査員との質疑応答や意見交換を行いました。審査委員会では、公開ヒアリングでの議論を踏まえ、多角的な視点から議論を行い、委員会として推薦すべき最優秀作品および優秀作品を各一点決定し、隠岐の島町に推薦いたしました。

以下、2次審査の選考過程および審査講評を公表します。

令和7年4月

審査委員長 布野 修司

1. 審査委員会までのプロセス

（1）提案者への情報提供

令和7年3月6日に「隠岐の島町大社エリア交流・民間商業施設運営等事業公募型プロポーザル」の審査会が開催されました。この審査会で、1階の商業施設の運営および施設全体の管理を担う運営事業者が選定されたことを受け、選定された運営事業者の提案書を1次審査で選定された5者へ参考資料として提供しました。

（2）審査委員会の開催

令和7年3月25日に、2次審査に向けた確認の場として審査委員会が開催され、1次審査で選定された5者の設計提案について、評価点の取り扱いや評価方法を議論しました。各審査委員は5者の設計提案書の評点について「仮配点」として記録した後、公開プレゼンテーションおよびヒアリングを踏まえて評価を見直し、最終的な配点の60%を設計提案評価として採用する方針が決定されました。このことは評価要領の改訂版としてホームページにも掲載しました。

（3）公開プレゼンテーションおよびヒアリングの開催

令和7年3月29日に、隠岐の島町役場町民ホールにて、町民を含む誰でも自由に参加できる形式で、公開プレゼンテーションおよびヒアリングを実施しました。提案者によるプレ

ゼンテーションは各チーム 20 分間とし、CG 映像や模型など多様な表現手法を活用して提案内容を詳しく説明していただきました。その後、提案者と審査委員、来場者による質疑応答および意見交換を約 90 分間行いました。質疑応答では、提案内容に加え、西郷港周辺まちづくりに関する考え方についても各審査委員から質問が寄せられ、それに対して提案者に真摯に応答していただきました。

(4) 2 次審査委員会の開催

公開プレゼンテーションおよびヒアリング終了後、提案者によるプレゼンテーションと質疑応答を踏まえて、審査委員それぞれの専門分野から、また行政的視点を考慮して、最優秀作品・優秀作品として推薦すべき提案作品を選考しました。審査対象とした提案者と提案作品名は以下の通りです。(プレゼンテーション発表順)

提案者名	提案作品名
(株)河内建築設計事務所	みんなの屋根
(有)アトリエ・シムサ	海と社を結ぶ大庇[おおびさし]
y&M design office + Tai Furuzawa Design Office + 秋山怜央建築設計事務所共同体	「むすびば」ー歴史・自然・人々をつなぐ場所ー
KAMIJIMA Architects 一級建築士事務所	隠岐の島をつなぐ大屋根-海・空・人をつなぐ新たなランドマークー
SAI・HiMa 設計共同体	縁結びの杜ーふるまう、うやまう、たどるー

まずは、審査委員個人が 5 つの提案作品について、プレゼンテーションとヒアリングの内容を考慮して 1 次審査項目を再評価しました。そのうえで取組意欲や計画の理解度、提案内容の具体性、そして諸課題への対応力を含めて評価を行いました。その後、議論を行うためにそれぞれが上位 2 つの提案作品を選び、投票を行った結果、以下の 4 作品が選出されました。

- ・ **みんなの屋根**
- ・ **海と社を結ぶ大庇[おおびさし]**
- ・ **「むすびば」ー歴史・自然・人々をつなぐ場所ー**
- ・ **縁結びの杜ーふるまう、うやまう、たどるー**

次に、選出された 4 作品について、審査委員それぞれの専門的な視点から多角的に議論を深めました。その結果、以下の 3 作品が選定されました。

- ・ **みんなの屋根**
- ・ **海と社を結ぶ大庇[おおびさし]**
- ・ **縁結びの杜ーふるまう、うやまう、たどるー**

最後に、この 3 作品について、各審査委員 1 票ずつ最終投票を行い、最優秀作品および優

秀作品を選定しました。

結果は、最も多くの票を獲得した「みんなの屋根」を最優秀賞、次に票の多かった「海と社を結ぶ大庇【おおびさし】」を優秀賞としました。

（５）審査委員会の決定

審査委員会は、最優秀作品を「みんなの屋根」、優秀作品を「海と社を結ぶ大庇【おおびさし】」として隠岐の島町に推薦することを決定しました。

2. 各提案に対する評価の概要

（１）最優秀作品の評価の概要

【みんなの屋根】

大きな屋根によって生み出される軒下広場が特徴的な提案であり、1階と2階は管理のしやすさを考慮して分離されながらも、軒下広場を通じて上下階の自然なつながりを感じられるように計画されています。この広場の形状は、敷地条件を丁寧に検討し導き出されたものであり、半屋外の特性を活かしたはみだし陳列やテーブル配置が可能です。商業活動の促進をはじめ、休憩やイベントなどの多目的な利用を可能にする柔軟性が高く評価されました。また、利用者の動線が細やかに考慮され、利用者視点に立った使いやすさと利便性を重視した設計の配慮も評価されました。さらに、屋根のデザインはダイナミックでありながら周囲と調和したスケール感を持ち、同時にシンボル性を感じさせる計画である点も評価されました。

人々が集い、交流し、多様な活動を展開できる場を実現する計画として、以上の評価から、隠岐の島町が選ぶ最適な提案であると判断しました。

（２）優秀作品の評価の概要

【海と社を結ぶ大庇【おおびさし】】

シンプルな架構と平面計画の明確さにより、使いやすさと可変性が評価されました。また、自然の力を活用した環境デザインや、効率性と地域性に配慮した構造の工夫も評価されました。一方で、大庇のもとに広がる空間は、人々が集まり交流を促す場として魅力的であるものの、室内部分がやや狭い印象を与えることから敷地全体をより効果的に活用する工夫が求められる点、西郷港周辺まちづくりの最初の建物となるインパクトやデザインの独自性が不足している点が課題とされ、最優秀作品に比べ相対的に及ばないと判断しました。

（３）その他作品の評価の概要

【「むすびば」－歴史・自然・人々をつなぐ場所－】

地元の実情を理解し隠岐の気候に配慮した、屋外ではなく室内利用を主軸とした計画が評価されました。また、サテライトオフィスの設置により関係者との密な連携を図る姿勢も

評価されました。一方で、柱の林立が什器配置や空間のフレキシビリティを損ねる可能性がある点や、ガラス張りによる環境負荷が課題として挙げられました。さらに屋根の計画について、大社分院通り側のスケール感は優れているものの、屋根の高低差により利用範囲が制限される点が懸念され、最優秀作品および優秀作品に比べ、相対的に及ばないと判断しました。

【隠岐の島をつなぐ大屋根-海・空・人をつなぐ新たなランドマーク-】

三角形の大屋根を採用し、屋根の重なりを活かしたデザインや、海側からの眺望を考慮した計画が評価されました。また、広場からのアプローチや、ファサードの開放的な構成により、海とのつながりを生み出している点も評価されました。一方で、広場の配置については、通りとの関係性をより強化するために、通り側に設けるほうが賑わいの創出につながるのではないかという指摘もありました。また、実施段階における具体的な対応について、さらなる検討が求められる点が懸念され、最優秀作品および優秀作品に比べ、相対的に及ばないと判断しました。

【縁結びの杜-ふるまう、うやまう、たどる-】

コミュニティデザインの専門家と建築設計者が共同で進める計画であり、運営者との協働を通じて、地域のニーズを的確に捉えながら施設の運営や活用に関わる体制が評価されました。専門的な知見を生かした継続的な関わりにより、利用者視点を大切にした施設づくりが期待できる点も評価されました。一方で、分節された屋根の構成については、保守管理の面で慎重な検討が必要であることが指摘され、最優秀作品および優秀作品に比べ、相対的に及ばないと判断しました。

（４）審査委員会の総評

本設計コンペティションは、西郷港周辺まちづくりの一環として、地域の将来像を踏まえた、町民に親しまれる空間設計を求めるものとして実施されました。応募された提案の多くが、西郷湾や大社分院通りとの調和を図りながら、交流の場としての可能性を探るものであり、そのアプローチは多様で意欲的なものでした。

特に、最優秀作品として選ばれた提案は、町民が集い交流を楽しむ場として利用者視点を重視した計画と、柔軟性と多様性を備えた設計により、交流施設として町民に親しまれる空間を実現できると判断できます。

また、本設計コンペティションでは、公開展示や公開プレゼンテーション・ヒアリングを実施し、提案内容を町民に広く共有する機会が設けられました。これらの取り組みは隠岐の島町が開かれたまちづくりを目指していることの表れであり、町民がまちづくりに対する理解と関心を深める契機となる、大きな意義を持つものと考えます。

最後に、全国からご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。その熱意と創意工夫によって寄せられた提案の数々は、西郷港周辺まちづくりにおいて新たな視点と価値をも

たらせてくださいました。皆様の熱意とご努力に改めて深く敬意を表します。